

# バンコク ワットスッターラム(WS)高校とのスカイプ

9月11日(水) 11:00-12:00

前日まで WS高校とグループラインにて日程調整

8:40 3年5組教室前で、該当生徒とグループ分け、及び進行について打合せ

第1グループ 津島高校 2名(井谷・荻田) WS高校 女子2名

第2グループ 津島高校 2名(上田・服部) WS高校 男子2名 その後、メンバー入替

9:00-10:00 興学館にて 設営準備

iPad(ソフトバンク 4G)管理番号5番、接続ケーブル、移動式プロジェクター、据置きスクリーン、スピーカー、延長コード

11:00 津島高校からスカイプ通話開始の合図を送る

11:01-11:03 音声も画像も流れず

11:04-11:07 画面は映るも、声は聞こえず。伊藤和、'Can you hear me?'を連呼する。

11:08-11:09 WS高校 Noi先生から'I don't hear your voice'とラインが入る。音声トラブルがあった模様。

11:10 WS高校のトラブル復旧。\*復旧作業中も、スマホ片手に我々を撮影する陽気なバンコクの先生方でした。

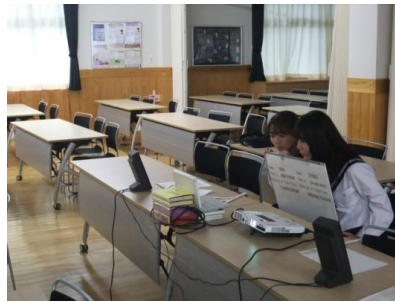
11:11 伊藤和から簡単な挨拶と自己紹介。\*WS高校側としては、早く生徒を画面に出せという感じでした。

11:13 生徒同士のスカイプ通話開始

相手国への渡航経験、お互いの国の食べ物、スポーツ、サブカルチャーについて情報交換。この他に学校で好きな科目は何か、といった身近な質問から、将来何になりたいか、といった質問まで様々であった。今回スカイプに参加したWS高校の生徒4名は優秀な生徒なのだろう。将来の希望として男子生徒1名と女子生徒2名は'doctor'と言っていた。もうひとりの男子生徒は'actor'と即答。一方、本校の生徒たちは、いざという時に言葉が出てこないもどかしさ、自分の国のことなのに聞かれても答えられない恥ずかしさを感じたようで、次はもっと調べてから取り組みたいという声があがっていた。

12:02 スカイプ通話終了

8月下旬のWS高校訪問時にお世話になったNoi先生、そして英語担当の女性の先生に今回のお礼を伝えるとともに、また次週同じ時間に、今度は(WS高校の)別の生徒とのスカイプの約束をして終了。



津島高校4名のうち2名は、昨年度、イオンの海外交流事業でバンコクの高校生と交流をしたおかげで、片言のタイ語で話すことができ、より親近感をもってもらった。次回は、タイの食事や文化について理解を深めつつ、WS高校から日本のことについてたずねられた時に、正しく答えられるようしておきたい。